

CloudGate Light→UNO

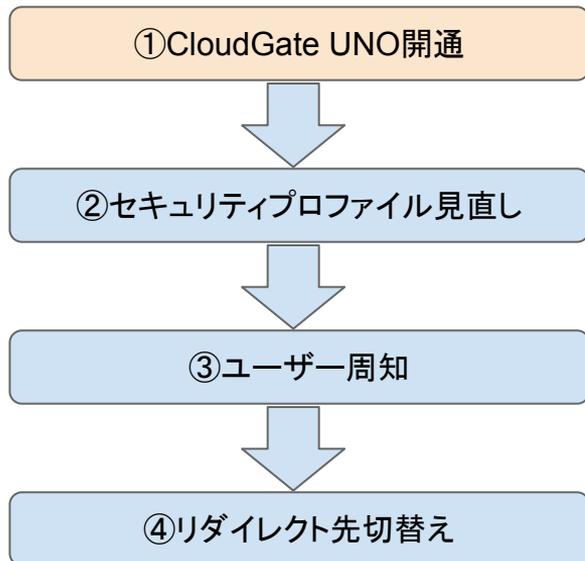
移行手順書

(データコピー対応)

株式会社インターナショナルシステムリサーチ
第3版

UNOご利用開始までの流れ

UNOをご利用開始頂くには下記ステップを実施する必要があります。
次ページ以降のスライドにて詳細の手順をご説明致します。



①UNOリリース作業 (ISR作業)

- ・お申込頂いてから5営業日後の納品が可能です。
- ・開通通知書(管理コンソールURL / ID / パスワード記載)
- ・旧Light環境から移行可能なデータを、新UNO環境へ移行します(後述)

②セキュリティプロファイルの見直し(お客様作業)

- ・リリース完了後、UNO管理コンソールよりデータ作成が可能となります。
- ・セキュリティプロファイルの見直し

③ユーザー様向け通知(お客様作業)

- ・SSO切替日の通知
- ・ログイン画面変更の通知
- ・端末登録作業

④SSO切替作業(お客様作業)

- ・G Suite管理パネルより「シングルサインオンの設定」変更を行います。

①CloudGate UNO開通

〈移行対象データ〉

- ・アカウント情報 (ID / パスワード)
- ・プロフィール情報 (IP制限情報)
- ・プロフィールのユーザーへの当て込み情報
- ・契約オプション情報
- ・契約ドメイン情報
- ・組織(OU)情報
- ・ログイン画面トピック情報
- ・CloudGateパスワードポリシー
- ・スマートフォン端末制限アプリ

〈移行対象外データ〉

- ・過去のアクセスログ情報
- ・登録済みのCookie情報
- ・アドレス帳 ON設定情報

〈いつのデータが移行される?〉

- ・移行されるデータは、UNO納品日時点のデータが移行されます。

②セキュリティプロファイルの見直し

プロファイル名	ユーザー数	最終更新日	操作
デフォルト	22	2019/08/21 11:39:44	名前変更 コピー 削除
N30test	0	2019/10/10 17:07:00	名前変更 コピー 削除
CGAuthGTP	0	2019/10/11 14:03:41	名前変更 コピー 削除
Amo.mdyvaca	1	200	
EPO2	22	200	
パシズ	0	200	
アドレス制御 OK Cookie	1	200	
アドレス制御 OK 端末制御	1	200	
test	0	200	
test	0	200	
test	1	200	
test	0	200	
Windows10	1	200	
アプリ_Cookie制御	1	200	
グループ_印刷機	0	200	

UNOリリース後は、随時管理コンソールへのログインが可能です。

アクセス制御ルール

追加

アクセス種別

(無名のルール)

パスワード

第1認証要素

パスワード

パスワードによる認証を要求します。

第2認証要素

設定なし

削除

編集 削除

選択してください

追加

メールアドレス

1111

編集 削除

(無名のルール)

パスワード

第1認証要素

パスワード

パスワードによる認証を要求します。

第2認証要素

設定なし

削除

編集 削除

個人端末

PC (ブラウザ、3台登録可能) スマートデバイス (ブラウザ、2台登録可能)

保存 取消 削除 削除

セキュリティプロファイルはそのまま移行はされますが、UNOでのセキュリティ強化により仕様が異なる部分もございます。必ず見直して頂き、修正/適用を実施してください。

セキュリティプロファイル見直しポイント

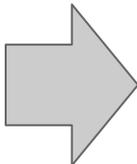
◆個人端末機能について

Cookie登録先のデバイスを、PC / スマートデバイスとで指定できるようになりました。
 CloudGate Light側で許可端末数を「3」としている場合、
 CloudGate UNO側では、**PC「3」・スマートデバイス「3」**となります。

必要に応じて、
許可端末数の再設定をお願いします

PC 端末制限 [詳しく](#)

個人端末 PC 登録許可端末数

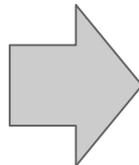


個人端末	OK	キャンセル
<input checked="" type="checkbox"/> PC (ブラウザー)	登録可能端末数	3
<input checked="" type="checkbox"/> スマートデバイス	登録可能端末数	3
<input checked="" type="radio"/> ブラウザー		
<input type="radio"/> 専用アプリ		
<input type="checkbox"/> 携帯電話 (ブラウザー)	登録可能端末数	1

◆★付のプロファイルについて

CloudGate UNO側では「プロファイル名 + アカウント名」というかたちでプロファイルが作成されます。

profile	gapp-train2.com	•	デフォルトプロファイル
tanaka	gapp-train2.com	•	★ デフォルトプロファイル2

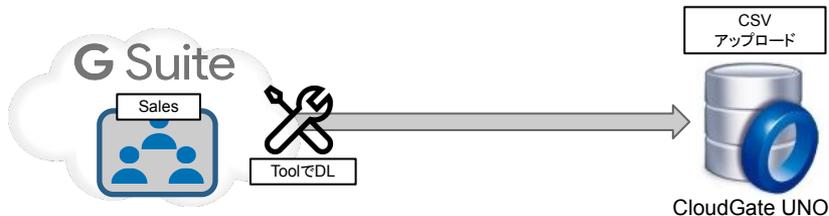


デフォルトプロファイル2 tanaka

GoogleMLデータの再登録作業(任意)

◆Googleグループを利用している場合

- ・CloudGate UNOでは、Googleグループに登録済みの MLデータを、一旦ダウンロードして頂き UNO側に登録頂く必要があります。



グループID	表示名	説明	サービス
1234group@core.cloudgate.jp	test1234		G
20170802_verify@core.cloudgate.jp	再検証用グループ0802	マスク箇所が変更された可能性がありますので再検証します	G
20170816@core.cloudgate.jp	テストグループ0816	kaneko作成	G
20171114@core.cloudgate.jp	テストグループ1114	池亀作成	G
20180315_test_sakou@core.cloudgate.jp	酒向検証グループ2018-03-15		G
aba_group@core.cloudgate.jp	abani		G
access-level-test@core.cloudgate.jp	アクセスレベルのテスト	アクセスレベルのテスト	G

◆作業手順は[ヘルプセンター](#)をご確認ください。

共有アドレス帳(CloudGate UNO Address Book)ON設定

サービス

CloudGate UNO Administrator Site
 アカウントID* 012345 @core.cloudgate.jp

CloudGate UNO Address Book
 アカウントID* 012345 @core.cloudgate.jp

CloudGate UNO Group Calendar
 アカウントID* seto.kanako@core.cloudgate.jp

G Suite
 アカウントID* seto.kanako@core.cloudgate.jp ⓘ

POP/IMAPアクセス

パスワード [リセット](#)

ユーザー設定画面の[サービス]より、CloudGate UNO Address Book にチェックを入れ、[保存]をクリック。
 *csvによる一括登録も可能です。

マルチドメイン環境でご利用中のお客様

【ご注意】

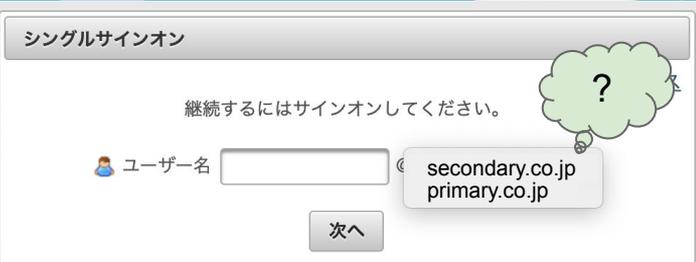
サインオン画面のレلمプルダウンは、CloudGate UNO管理者サイト - 組織タブに表示されているレلمの順序となります。

お客様の意図する順番で、管理者サイト - 組織タブ内に表示されているにもかかわらず、CloudGate UNOサインオン画面において、意図しない並び順序となっている場合、下記の方法で解消することが可能です。

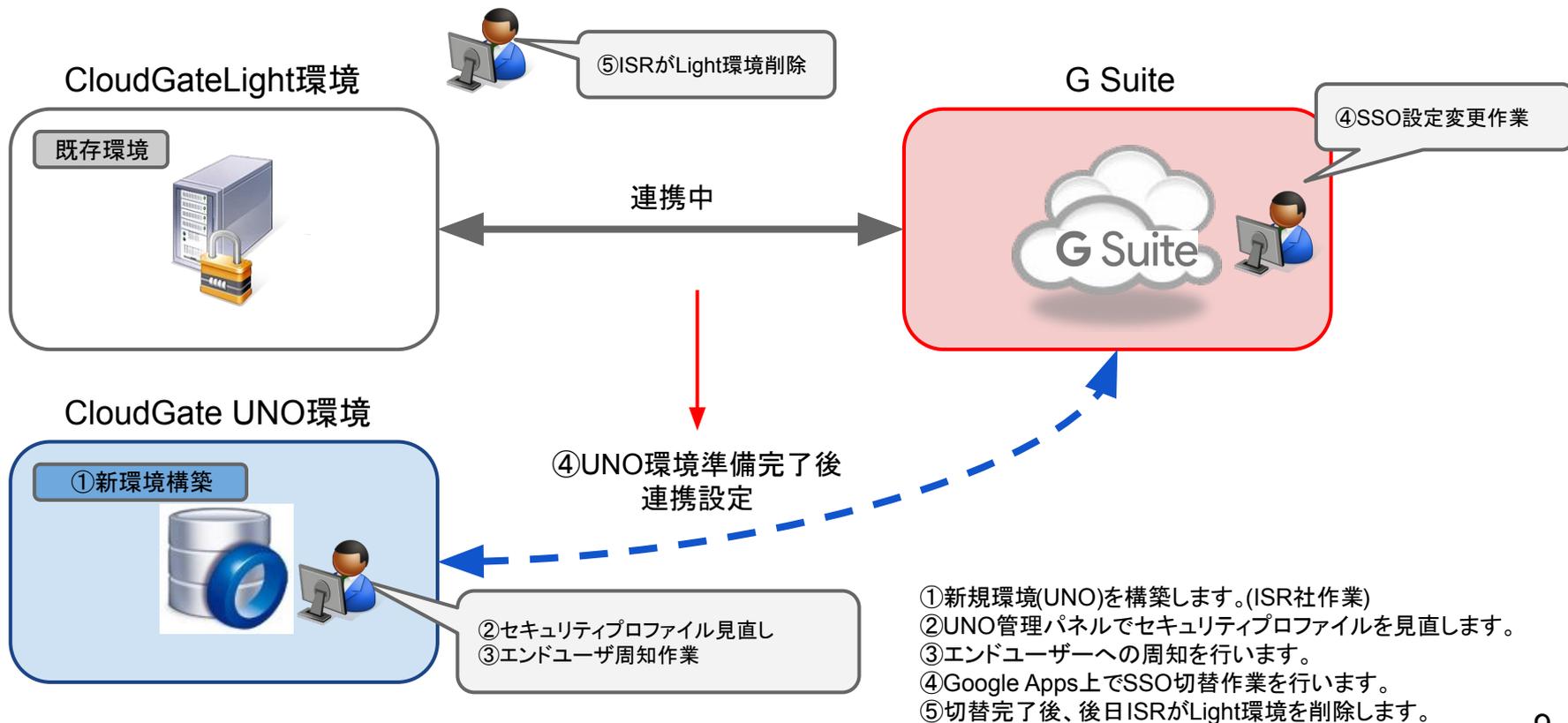
- ①CloudGate UNO管理者サイト - (左メニュー)ユーザー > [組織]タブ > 会社名を選択
サインオン画面に表示されている順序どおりに一旦変更します。
- ②その後、サインオフ>再度、管理者サイトへサインオン - >[組織]タブにて
意図する順序に並べ替えます。

=====
CloudGate UNOでは前回サインオン時に選択したドメインをキャッシュしておりますので、前回「secondary.co.jp」でサインオンしていた場合は、上記お試しいただいても「secondary.co.jp」が初期表示される仕様です。

そのため、動作をお試しいただく場合、お手数ではございますが、別のブラウザを利用するかもしくはご利用ブラウザのシークレットモード(chrome)やinPrivate (IE)といった履歴を残さないブラウザの機能でご確認いただけますでしょうか。



切替作業イメージ



ご注意事項:プロビジョニングについて

プロビジョニングとは、CloudGate側でアカウント作成・削除した際に、G Suite側へも作成・停止状態とするなどアカウントの同期を取る機能です。

UNOに向けてSSO設定を有効化していない状態でもプロビジョニング機能はONとなりますため、以下の挙動になります。

- ①G Suiteにアカウントが存在していない場合はUNO側で作成するとG Suiteにも新規で作成
 - ②G Suiteにアカウントが存在している場合UNO側で作成すると自動で紐付く
 - ③UNO側でアカウントを削除した場合、G Suite側で停止状態となりログイン不可
- ※UNO側で安易にアカウントを削除しませんようお願いいたします。



ID: test@casio.co.jp
PW: xxxxxxxxxxxxxxx



ID: test@casio.co.jp
PW: 12345678



ID: test@casio.co.jp
PW: 12345678

ユーザーアナウンス

ユーザーアナウンス

「SSO切り替え作業」前までにユーザー様側にアナウンス頂く必要がございます。

①切り替わるタイミング(日時)

②CloudGate UNOのログイン画面

③ログインのID・パスワード共に従来どおりの ID/PWが使用が可能です。

④GoogleへのアクセスURLに変更はありません

※現在のログイン URL(mail.google.com/a/ドメイン名)で変更ございません。リダイレクト変更後のログイン画面が変更になります。

※上記以外のURLでご利用の場合は、ISRサポート対象外となりますのでご注意ください。

セキュリティプロファイル設定で、端末登録がある場合、以下もご周知下さい。

⑤端末再登録が必要です(PC端末制限機能をご利用の場合)

⑥アドレス帳へのログイン URLが変わります。

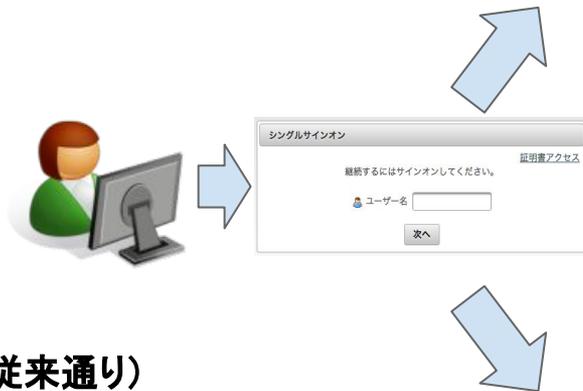
⑦ご利用中のメーラーへのホスト名変更・ポート番号設定変更、
ならびにGoogleパスワードリセット操作が必要です

2通りのログイン方法

■ユーザーハブ経由でG Suiteログイン

<https://echizen.cloudgate.jp/sso/お客様ID>

CloudGateでSSO連携しているアプリは、ユーザーハブからログイン可能です。



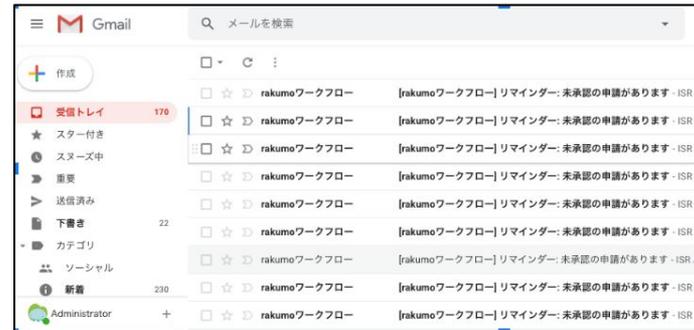
■Googleのサービスにログイン(従来通り)

Gmailであれば

<https://mail.google.com/a/ドメイン名>



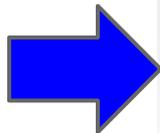
ユーザーハブに出ているアプリをクリックすると、タブが立ち上がりGmailの画面へ遷移。必ずGmailの画面になる。



ログイン画面の変更

CloudGate UNOでは以下のログイン画面に変更となります。

<従来のログイン画面>



<CloudGate UNO>

・会社ロゴ表示はUNO管理コンソールより設定可能です。

個人端末登録

- ・許可されたIP以外からのアクセスの場合、ユーザー様の初回ログイン時に、端末登録画面が表示されます。
- ・端末名を入力し「登録」ボタンを押してください。
- ・アクセス許可IP制限内で端末登録画面は表示されませんので、ご注意ください。

鈴木 一郎の端末登録

端末を登録するには、以下の項目に記入してください。

端末タイプ	PC
端末所有者	個人
端末名	<input style="width: 100%;" type="text"/>

※ご注意！

本機能によって、端末登録がユーザー自身で選択できる状況となります。私物端末等、会社管理外端末への登録は控えるよう、事前アナウンスのタイミングで注意喚起の程、よろしくお願いいたします。

社用端末登録(管理者作業)

- ① 該当端末から、下記 URL にてユーザーハブへアクセス
<https://echizen.cloudgate.jp/sso/お客様ID>
- ② 端末登録ボタンをクリック
- ③ 端末登録作業実施

社用端末登録用の端末登録

端末を登録するには、以下の項目に記入してください。

端末タイプ	PC
端末所有者	社用
端末名	<input type="text"/>

Admin ISRのユーザーハブ

[パスワード変更](#)
[端末登録](#)
[サインオフ](#)
[ヘルプ](#)



Admin ISR

[更新](#)

姓 ISR
 名 Admin
 ユーザー名 admin
 @ core.cloudgate.jp
 前回サインオン 2017/04/19
 10:08:51

利用可能サービス アクセス履歴

G Suite

G Suite
admin@core.cloudgate.jp

salesforce

Salesforce.com
admin@core.cloudgate.jp

Office 365

Office 365
admin@of.isr.co.jp

box

端末登録をクリックし、社用端末として登録。

メーラ設定変更&パスワードリセット (POP/IMAPオプション契約者様)

- ①サーバ名の変更「px*.cloudgate.jp → mail01.cloudgate.jp」
- ②POP/IMAPポート番号の設定
- ③ユーザー毎にGoogleパスワードのリセット操作

<input checked="" type="checkbox"/> G Suite	
アカウントID*	seto.kanako@core.cloudgate.jp 
POP/IMAPアクセス	<input type="checkbox"/>
パスワード	 リセット

※ご注意！

Googleパスワードリセットを実施しますと、Googleにログイン済みのアカウントは全てログアウトされます。
(Google製アプリや、ISR製GoogleSync連携オプションなど)

GoogleSync連携オプションに関して

CloudGate Light/SSOで提供されていた「GoogleSync連携オプション」はCloudGate UNOでは提供されません。iOSネイティブアプリ(メール・カレンダー・連絡先)とG Suiteを同期する場合、下図のように「Google」アカウントを選択して手順を進めることでSSOログイン画面に遷移されるようになりました。そのため必ずしも「Exchange」アカウントでActive Syncを利用せずとも同期できるようになったことから本オプションはUNOでは提供しておりません。



SSO 切替作業

⑦Google側でのSSO設定

G Suite管理コンソールでSSOの設定を行います。
この設定が完了した後ログインしようとするユーザーはログイン画面がNOの画面になります。

セキュリティ > サードパーティのID プロバイダを使用したシングルサインオン(SSO)の設定

サードパーティの ID プロバイダ

サードパーティの ID プロバイダで SSO を設定する

サードパーティの ID プロバイダを使用した管理対象 Google アカウントへのシングルサインオンを設定するには、以下の情報を入力してください。 [詳細](#)

ログインページの URL
https://echizen.cloudgate.jp/sso/core.cloudgate.jp/login.xhtml

システムと G Suite へのログイン用 URL

ログアウトページの URL
https://echizen.cloudgate.jp/sso/core.cloudgate.jp/logout.xhtml

ユーザーがログアウトするときリダイレクトする URL

証明書の管理

証明書ファイルをアップロードしました。 [証明書を更新](#)

証明書ファイルは、Google が署名した証明書と公開鍵が含まれている必要があります。 [詳細](#)

ドメイン固有の発行元を使用

ネットワーク マスク

③ チェックON

ネットワーク マスクにより、シングルサインオンが適用される場合、ネットワーク全体に対して SSO 機能が適用されます。(例: 64.233.187.99/8, 72.14.0.0/16)。範囲の指定にはダッシュを使用します (例: 64.233.167.204.99/32)。ネットワーク マスクは CIDR 表記にする必要があります。 [詳細](#)

パスワード変更用 URL
https://echizen.cloudgate.jp/sso/core.cloudgate.jp/change-password.xhtml

ユーザーがシステムでパスワードを変更する際にアクセスする URL です。定義すると、シングルサインオンが有効になっていない場合でもこの URL が表示されます

<推奨手順>

1. 証明書(認証ファイル)をアップロードする
2. ログイン・ログアウト・パスワード変更 URLを書き換える
3. "ドメイン固有の発行元を使用"にチェックを入れる
4. [保存]する ※画面上に変更がある場合のみ[保存]ボタンは表示されます

①

UNO管理コンソールより取得済の、
①証明書ファイルをアップロードします

②

UNO管理コンソールより取得済の、
以下URLを入力します
②ログインURL
③ログアウトURL
④パスワード変更画面URL

キャンセル

保存

④

上記内容を入力後、変更を保存します。
以降CloudGate UNO経由によるGoogle利用が開始します。

⑦Google側でのSSO設定

SSO管理者画面でSSO設定の情報を確認します。

【SSO設定】アイデンティティプロバイダー

アイデンティティプロバイダー設定

CloudGate SSOサーバー

プロバイダー名	https://echizen.cloudgate.jp/sso/core.cloudgate.jp/
ログインURL	https://echizen.cloudgate.jp/sso/core.cloudgate.jp/login.xhtml
ログアウトURL	https://echizen.cloudgate.jp/sso/core.cloudgate.jp/logout.xhtml
パスワード変更画面URL	https://echizen.cloudgate.jp/sso/core.cloudgate.jp/change-password.xhtml
端末登録画面URL	https://echizen.cloudgate.jp/sso/core.cloudgate.jp/register-device.xhtml
OIDC 認証URL	https://echizen.cloudgate.jp/sso/core.cloudgate.jp/oidc/auth
OIDC トークンURL	https://echizen.cloudgate.jp/sso/core.cloudgate.jp/oidc/token
OIDC ユーザー情報エンドポイントURL	https://echizen.cloudgate.jp/api/customers/core.cloudgate.jp/userinfo
証明書	ダウンロード
証明書のフィンガープリント (SHA1)	5B 16 B0 57 96 56 08 2D 9A 29 70 CE F1 5D FD 26 36 07 76 22 コピー
証明書のフィンガープリント (SHA256)	4B 80 DB 29 DC B9 AC 97 A0 05 14 0D C4 0C DD B3 47 BD 26 4D 9B 9D 7D CB A0 10 1A AF E5 74 17 F7 コピー
証明書のフィンガープリント (MD5)	6A 85 B7 A4 5D 23 A1 21 E7 2A 54 4E D6 44 AF 3C コピー
SAML メタデータ	ダウンロード

メニューにアクセス

以下の3つのURLを使用します。

- ①ログインURL
- ②ログアウトURL
- ③パスワード変更画面URL

④証明書ファイルをダウンロードしておきます。

<参考>SSO切り戻し作業

SSO切替時に切り戻しの必要が発生した場合は以下手順で復旧可能です。
旧SSO環境の残存期間についてはご相談くださいませ。

セキュリティ > シングルサインオン(SSO)の設定

サードパーティの ID プロバイダ

サードパーティの ID プロバイダで SSO を設定する

サードパーティの ID プロバイダを使用した管理対象 Google アカウントへのシングルサインオンを設定するには、以下の情報を入力してください。 [詳細](#)

ログインページの URL
https://echizen.cloudgate.jp/sso/core.cloudgate.jp/login.xhtml
システムと G Suite へのログイン用 URL

ログアウト ページの URL
https://echizen.cloudgate.jp/sso/core.cloudgate.jp/logout.xhtml
ユーザーがログアウトするときにリダイレクトする URL

証明書の証明書

証明書ファイルをアップロードしました。 [証明書を更新](#)

証明書ファイルには、Google がログインプロバイダを確認するための公開鍵が含まれている必要があります。 [詳細](#)

ドメイン固有の発行元を使用

ネットワーク マスク

ネットワーク マスクにより、シングルサインオンが適用されるアドレスが決まります。マスクを指定しない場合、ネットワーク全体に対して SSO 機能が適用されます。マスクの区切りにはセミコロンを使用します (例: 64.233.187.99/8; 72.14.0.0/16)。範囲の指定にはダッシュを使用します (例: 64.233.167.204.99/32)。ネットワーク マスクは CIDR 表記にする必要があります。 [詳細](#)

パスワード変更用 URL
https://echizen.cloudgate.jp/sso/core.cloudgate.jp/change-password.xhtml

①

CloudGate SSOの
①証明書(PublicKeyファイル)をアップロードします※

②

切り替え前のURLに戻します。
②ログインURL
https://cloudgate.jp/お客様ID/doLogin
③ログアウトURL
https://cloudgate.jp/お客様ID/doLogout
④パスワード変更画面URL
https://cloudgate.jp/お客様ID/change_password.jsp

④

キャンセル 保存

上記内容を入力後、変更を保存します。
以降SSOオプション経由による Google利用に戻ります。

※証明書は、別途ISRよりご用意いたします。

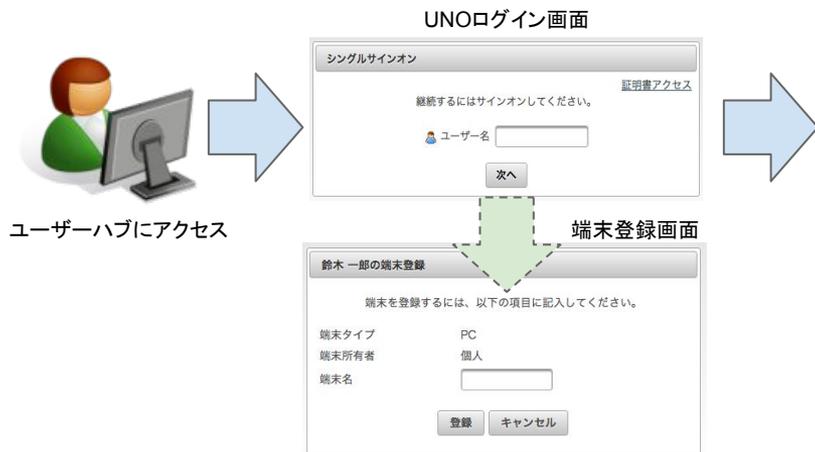
<参考>SSOログインの事前テスト

CloudGate UNOアカウントでのSSOログインや端末登録に関しましては、以下手順にて確認することが可能です。

<手順>

【ユーザーハブ】<https://echizen.cloudgate.jp/sso/><お客様ID>/

- ・【ユーザーハブ】にアクセス頂くとSSO切替の前でもCloudGate UNOのログイン画面が表示されます。
- ・UNOのユーザーID / パスワードでログインするとユーザーハブ画面が開きます。
- ・個人端末制限を設定されているアカウントに関しましては、ユーザーハブが開く前に端末登録画面が表示されますので、ご利用のブラウザで端末登録を実施頂ければと存じます。



ユーザーハブにログイン成功！

The screenshot shows the 'Admin ISRのユーザーハブ' (Admin ISR User Hub) interface. It features a profile card for 'Admin ISR' and a list of '利用可能サービス' (Available Services). A pink box highlights the 'G Suite' service, which is linked to 'admin@core.cloudgate.jp'. Other services include 'Salesforce.com' and 'Office 365'. A blue callout box points to the G Suite entry with the text: 'SSO切替後に、Gmailへアクセス可能となります。' (After SSO switching, access to Gmail is possible).

仕様変更

仕様変更 - ユーザーハブ

ユーザーハブとは

UNOユーザー個人のページで、ユーザーがアクセスできるサービスへのリンクや、自分自身の情報確認などを行うことができる機能を提供します。

表示される条件としまして、下記アクセスURLからログインするか、ログイン済みG Suiteから明示的にログアウトを実施しますと、ユーザーハブが表示されます。

アクセスURL : <https://echizen.cloudgate.jp/sso/お客様ID/>

SSO管理者サイトです。
SSO管理者権限を保持するユーザーのみ表示されます。

デフォルトでは Gmailに画面遷移します。

仕様変更 - Cookie登録枠の確認

UNOではCookie制御をデバイス(UA)ごとに識別します。

従来の環境は識別なくトータルでの登録枠だったので、登録しているものがPCなのかスマートフォンなのか区別が難しい場合があります。

UNOに切り替える際は、各ユーザーでPC/スマートフォンごとにアクセス許可数を決定し、プロフィールを適用して下さい。


個人端末

✔ OK
✖ キャンセル

<input type="checkbox"/>		PC (ブラウザー)	登録可能端末数	1	▼
<input type="checkbox"/>		スマートデバイス	登録可能端末数	1	▼
<input type="checkbox"/>		携帯電話 (ブラウザー)	登録可能端末数	1	▼

仕様変更 - アカウント作成

ユーザー毎にサービスプロバイダーを選択することができます。

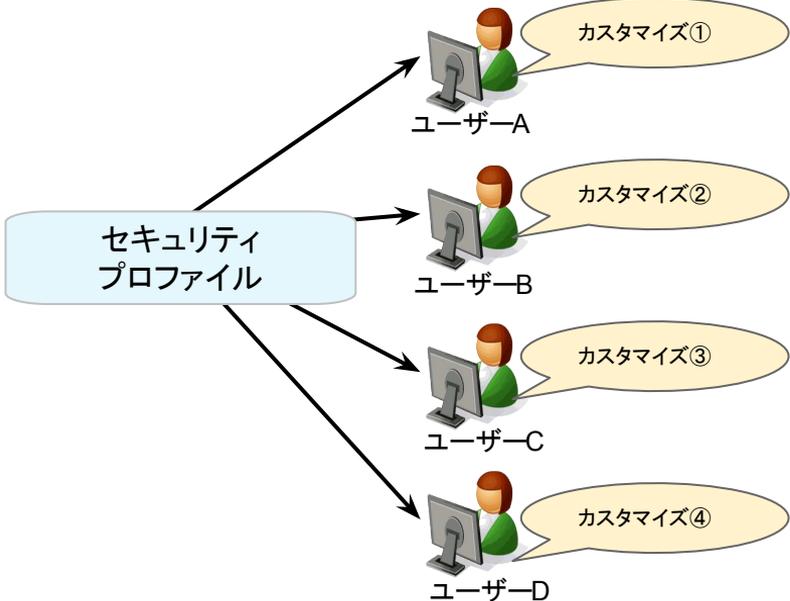
サービス

<input type="checkbox"/>	CloudGate UNO Administrator Site	アカウントID*	012345	@core.cloudgate.jp
<input type="checkbox"/>	CloudGate UNO Address Book	アカウントID*	012345	@core.cloudgate.jp
<input checked="" type="checkbox"/>	CloudGate UNO Group Calendar	アカウントID*	seto.kanako@core.cloudgate.jp	
<input checked="" type="checkbox"/>	G Suite	アカウントID*	seto.kanako@core.cloudgate.jp	
	POP/IMAPアクセス		<input type="checkbox"/>	
	パスワード		リセット	
<input type="checkbox"/>	LINEWORKS	アカウントID*		
<input checked="" type="checkbox"/>	Salesforce-core	アカウントID*	seto.kanako@core.cloudgate.jp	

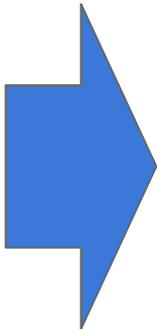
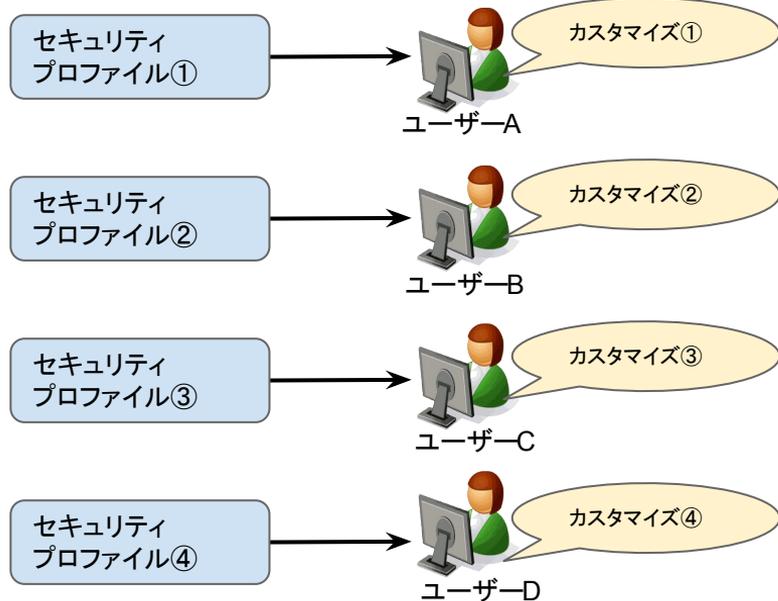
チェックと
アカウントIDが入っていないとログイン出来ません。

仕様変更 - プロファイルの個別カスタム

従来のセキュリティプロファイルの考え方



CloudGate UNOのセキュリティプロファイルの考え方



ユーザー毎にカスタマイズを行う事ができました。(青字★プロファイル)
 例えば、全てのユーザーを全て違うセキュリティプロファイルで制限する場合でも、セキュリティプロファイルは一つで対応できました。

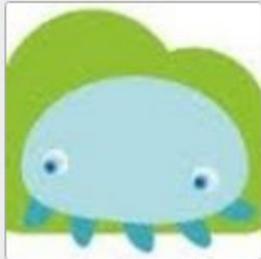
ユーザー毎にプロファイルをカスタマイズすることはできません。
 ユーザーがセキュリティプロファイルに所属しているため、ユーザー毎に新たにプロファイルを作成し、該当ユーザーに適用する必要があります。

仕様変更 - アクセス履歴

ユーザー自身でアクセス履歴の確認が出来るようになりました。

Admin ISRのユーザーハブ

[パスワード変更](#)
[端末登録](#)
[サインオフ](#)
[ヘルプ](#)



更新

Admin ISR

姓 ISR

名 Admin

ユーザー名 admin

 @ core.cloudgate.jp

前回サインオン 2017/03/21

 14:28:20

	利用可能サービス	アクセス履歴			
	2017/03/21 11:56:37	202.224.193.180	PC	表示する	成功
	2017/03/21 11:56:27	202.224.193.180	PC	パスワード間違い 表示する	失敗
	2017/03/21 11:30:55	202.224.193.180	PC	CloudGate UNO Administrator Site	成功
	2017/03/21 11:05:13	61.197.194.148	PC	CloudGate UNO Administrator Site	成功
	2017/03/21 11:04:38	61.197.194.148	PC	表示する	成功
	2017/03/21 11:03:10	202.224.193.180	PC	Dropbox	成功
	2017/03/21	202.224.193.180	PC	表示する	成

(補足) GoogleSync連携オプションに関して

CloudGate Light/SSOで提供されていた「GoogleSync連携オプション」はCloudGate UNOでは提供されません。iOSネイティブアプリ(メール・カレンダー・連絡先)とG Suiteを同期する場合、下図のように「Google」アカウントを選択して手順を進めることでSSOログイン画面に遷移されるようになりました。そのため必ずしも「Exchange」アカウントでActive Syncを利用せずとも同期できるようになったことから本オプションはUNOでは提供しておりません。



仕様変更 - 機能統廃合

従来のご提供していた機能で諸々都合により統廃合された機能がございます。

■携帯キャリア制限オートログイン

-GoogleAppsが携帯電話(フューチャーフォン)の古いブラウザのサポートを終了することからCloudGateもフューチャーフォンよりもスマートフォンに対するサービスを向上させる為、廃止となりました。

■携帯キャリア制限

-携帯電話(フューチャーフォン)制限をCookieでのみ制限する仕様となった為、当該制限に統合され廃止となりました。

■携帯端末ID制限

-携帯電話(フューチャーフォン)制限をCookieでのみ制限する仕様となった為、当該制限に統合され廃止となりました。

■個別プロフィール設定(青字★のプロファイル)

-個別プロフィールの仕様変更により、プロフィールをの個別カスタマイズが出来なくなりました。

■アクセス履歴ポップアップ表示

-ユーザーハブに機能移行

仕様変更 - 未実装機能

従来の環境でご提供していた機能で諸々都合により統廃合された機能がございます。

■Googleエイリアス(ニックネーム)連携機能

AD所定の属性値にセットされた値を、Googleアカウントの「エイリアス」として登録する機能。

■送信元アドレス機能

AD所定の属性値にセットされた値を、Googleアカウントの「Fromアドレス」として登録する機能。

■Google Sync連携機能

CloudGateのIDとパスワードでGoogle Syncの認証ができるようにする機能。

仕様変更 - G Suiteで格納される組織の場所について

- 仕様: マルチドメインの場合、Gsuite側に作成される挙動は以下のとおりです。

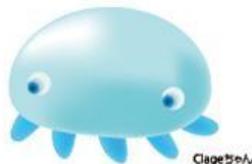
UNO: トップの組織配下に作成する

3系: ラベル(Googleドメイン)を判断して該当の組織配下に作成する

- 解決方法: 適宜、G Suite側でのメンテナンスをお願いいたします。

背景: 3系ではドメインチェック機能がありましたが、UNOではチェックしておりません。限定的にGoogle APIエラーが出たことがあり、安定稼働のためにチェックを外しています。

Thank you!



Cloud Gate